



知っているようで
実は知らない...

今どきの時事ニュース

100歳以上の高齢者不明事件

テレビや新聞で大きく取り上げられていた事件ですが、2010年7月下旬、全国で2番目に長寿とされている東京都足立区の男性（111歳）が、自宅で一部ミイラ化した状態で見つかりました。

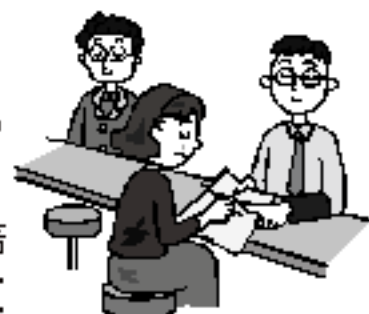


実はこの男性は、もう30年前に亡くなっていたそうですが、発覚の7月までは約1000万円近くの年金が男性の家族に支払われており、警視庁は「年金の不正受給の疑い」があるとして、男性の家族から詳しく事情を聴いています。

そして、厚生省はこの事件を受け、全国の高齢者の「現況把握調査」を行ないましたが、その結果、所在が確認できない高齢者が相次いでいるようです。また現在、全国の自治体の民生委員（地域住民の生活状態を調査することが主な仕事）が、高齢者の方々と面会を要請するなどの手を尽していますが、プライバシー等の問題や、「本人が会いたくないと言っている」との理由で家族に拒否されるなど、なかなか調査が進んでいないのが現状のようです。

こういった場合、理由はケースバイケースなので、全て今回の事件と同じ理由ではないと思いますが、もし故意に亡くなった家族の年金を受け取っているのであれば、家族の絆の薄さやモラルの低下を感じざるを得ません。

ちなみに、ご家族が亡くなった場合の『死亡届書』は、死亡の事実を知った日から義務者が“7日（海外での死亡の場合は3ヶ月）以内”に「①死亡者の本籍地」「②死亡地」「③届出人の現住所地」の順で、いずれかの市区町村役場へ提出する必要があります。



家族や地域の繋がりが希薄になっている今の時代ですから、もしかしら、こういった制度も見直しが必要なのかもしれませんね。

人と人の繋がりがやモラルについて、今一度考えくみるのも大切ではないでしょうか。



体のツボを見つけてみよう!

人間の体にある「ツボの数」は、正式に認定されたものだけでも“361個”ありますが、それ以外にも人間の体には“1000個以上”のツボがあるといわれています。そこでこのコーナーでは、「人間の体にはどこにどんなツボがあるのか」をテーマにして、イラストを使ってわかりやすくご紹介していきます！ぜひ、「ツボさがし」や「ツボの勉強」にお役立て下さい。

ふうもん 風門

文字どおり「風の門」という意味があり、風は“風邪”をあらわしています。東洋医学では、風邪がこのツボから体の中に入り、風邪をひいてしまうと考えられています。

ですから、このツボは“風邪予防・治療のツボ”であることを示しています。



ツボの見つけ方

手を反対側（右手の場合は左側）の肩へ回し、指をそろえて肩甲骨の一番高いところに“小指”をあてる。その状態で“中指の先”が当たっているところが「風門」です。



効果・効能

急な発熱、のぼせ、呼吸の乱れ、息苦しさ、腕や背中の痛み、首の後ろのこり、嘔吐、めまい、激しい頭痛などの症状に効果があります。

このツボは風邪のひき始めの治療に欠かせないツボで、風邪の症状全般にとっても効果があります。普段からここをよく指圧しておくこと、風邪の予防にもなります。

